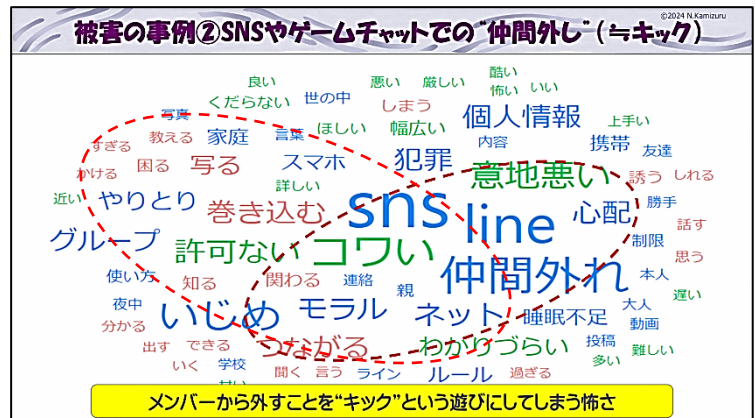


『禁止だけでは…子どもは育たない』  
～夏休み前だからこそ！これを！～

1. みなさん・・・どんな問題をおもちですか？（自己紹介＆アイスブレイキング）
2. 子どもたちの実態を知りましょう

- ## (1) 悲しい拡散の事例…自分の未来を壊してしまう

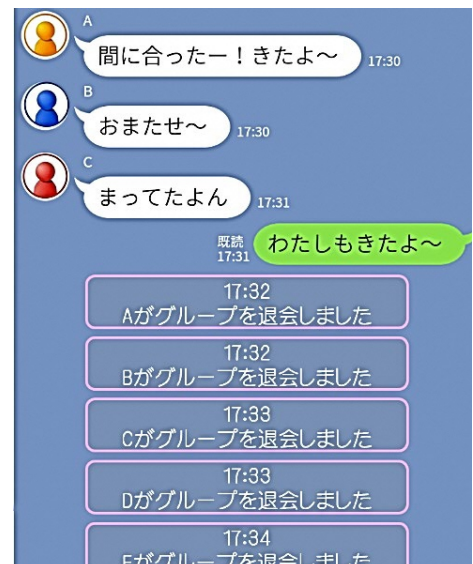
- ① ネットでは『正義感×批判×興味＝さらす』になってしまう
- ② 投稿前に「どうなるか」イメージできる子どもに！
- ③ 使用の実態を知りましょう  
時間指導は…効果が低いが…『5時間の壁』を意識させましょう



- ### 3. 被害の意識と事例

- (1) AI が示す、被害にあった子どもたちの意識

- ① SNS に…勝手に UP される
- ② SNS で…仲間外れにあう



- #### 4. どの学年でも重要なこと・・・

- (1) 被害についての基準をしっかりと子どもに伝える

- (2) 保護者が必ず守ることを伝え“行動する”

- (3) 「被害の基準」を PTA などと共有する



- PTA 研修やご家庭で話し合う例
- 「被害の基準」を話し合う
  - 「対策の手順」を家庭で話し合う
- い、学校と連携して説明する
- 「保護者どうしでの情報交流」の場として「ママカフェ」的な場での話題にする

## Memo

5. 「3つのキケン」で語りましょう(サービス名で指導しないことが重要)



- ① ばらまくキケン=たくさんの“登録”、コメントやいいねのばらまき
- ② つながるキケン=知らない間に…つながっていることを自覚させる
- ③ つながらなくなるキケン=家庭としては、“5時間の壁”を堅持すること

(2) 「大人としてどう向き合っていくか」について学びましょう

- ① 「わかるわあ」と共感することから始めましょう
- ② 「それ、だいじょうぶ？○○のキケンじゃない？」と問いかけましょう
- ③ 「これが現実だけど…」と“事例”でせまりましょう
- ④ 「あなた！だいじょうぶ？」と問いかけましょう
- ⑤ 「あなた○○はダメ」と、ダメなものは「ダメと言える保護者」になりましょう
- ⑥ “自分を守る”を第一に！自分を守れないものは他者を守ることができません
- ⑦ 最終的に「ほ～らきた、それかよお～」と思わせない出口にします
- ⑧ 「それならできる！」と子どもに思わせる目標を作らせましょう

6. ポジティブな利活用を体験させる夏休みするために！

(1) 家族で AI を使ってみる夏休みにしましょう。

- ① まず、どの AI でもいいので、無料版を使ってみましょう。
- ② AI にはそれぞれ「得意・不得意」があります。あうものを探してみましょう。
- ③ 「AI に教えてもらう」ではなく、「AI に命令し、結果を伝えましょう」  
例0:「次に UP する写真は○○の写真です。」→写真を UP する  
例1:「この写真の背景を、“富士山”にしてください」  
例2:「よい出来上がりです。空の色を、もっと“青空の感じ”にしてください」  
例3:「ありがとう。思ったような写真になりました。」⇔“評価を伝える”≠お礼！

写真の編集、レシピの相談、旅行のプランニングなど、場面はたくさんあります。

(2) 少し慣れてきたら、家族で「有料版(3000 円/月程度)」に入ってみましょう。

- ① 「有料版」=「優良版」です。(絶対です！)
- ② AI は、あなたの質問をより理解し、あなたの「命令」を学習して、「よりあなたの指示に従う」ようになります。



7. 岐阜新聞：県内小学生向け(学校経由で配布)「マナビのトビラ」26年夏号より



### 親子で考える



## SNS・AIとのつきあい方

最近ではみなさんも、スマホやタブレットを使う機会がふえましたね。その中で、SNSやAIにふれることもあると思います。これらの持ちようをとらえて、上手に使いこなすためにはどうすればいいのでしょうか。親子でいっしょに考えてみましょう。

### 教えてくれた人

上水流 信秀さん (情報モラル教育研究所 代表)

こんにちは!上水流信秀です。前は小学校の教頭先生をしていました。いまはインターネットやスマホ、AIをうまく活用する方法について研究し、新聞やテレビ、大学、講演会などで、みなさんにわかりやすくお伝えしています。

※岐阜新聞「考えよう!みんなのケータイ・スマホ」毎月第2火曜連載  
※文部科学省情報モラル教育指導者養成事業の専門委員など担任



### かっこいい使い方

◎遠くに住む家族や親せき、友だちと最近のことを伝えあう  
◎同じしゅみをもつ仲間と作品を見せ合う(保護者といっしょに)  
◎災害情報、天気、ニュースを知る

### 【SNS編】

①写真は「うつりこみ・背景」に注意!  
ひとみや背景から、住所や学校が特定されることがあるよ。

②一度あげた情報は一生消せない!  
世界中に発信され、二度と消せない。それでもいいか考えよう。

③知らない人とつながらない!  
小学生がひがいに合う事件がたくさん起きているよ。  
○2025年にSNSがきっかけでひがいを受けた小学生は全国で1,568人。(警察庁)

④悪口・グループ外しは「いじめ」

⑤「すぐ返信」のプレッシャーから自由になろう

### 【AI編】

①AIはウソをつくことがある  
AIはあなたを理解しているのではなく「合わせている」だけ。  
AIに聞いた内容は周りの人や他のメディアで必ず確認してね。

②個人情報や友だちの名前、写真を読みこませない  
AIが一度覚えた情報は消すことができず、どんどん広がって悪い人に知られて、利用される危険があるよ。

③宿題を全部任せるのはダメ  
自分で考えて答えを出したり、調べたりする力がなくなってしまうよ。

### 家庭で取り組もう!親子で約束!チェックリスト

- ☐ 使う時間と場所を決める(リビングで/〇時まで)
- ☐ ねる1時間前は画面を見ない
- ☐ フィルタリング・ペアレンタルコントロール設定をする
- ☐ 投稿前に「世界中に見られても大丈夫かな?」と一度立ち止まる
- ☐ 困ったらすぐに相談する(しからないと約束する)
- ☐ AIの答えは「ほんとうかな?」とうたがう
- ☐ ルールを破ったときのことをいっしょに決める

### 保護者の方へのおねがい

①制限より対話を。一方的な禁止ではなく、子どもが納得できるルールを一緒に作りましょう。約束を守れたらほめたり、定期的にルールを見直したりすることも大切です。

②大人も学ぶ姿勢で。「どんなことをしているの?」「一緒に試してみよう」が言葉です。

③トラブルが起きたときも、しる前にもう聞きましよう。すぐに相談してもらえ関係づくりが最大の安全対策です。

●警察庁「令和7年における少年非行及び子供の性被害の状況」2026年2月より  
(参考)文部科学省 各中等教育段階における生成AIの活用方法に関するガイドライン(Ver.2.0)他

AIは決してあなたの友だちでも、先生でもありません。最後に決めるのは自分(人間)です。

8. 【参考】 大人として子供にどう向き合うべきかお話ししています。



保護者として、大人としてどう向き合うか! 07 分 36 秒  
URL = <https://vimeo.com/728866422> Pass = 456789

※再生スピードを2倍までにすることができます。(時短になります)

講演等のご依頼等は下記のメールアドレスまで

JMK 情報モラル教育研究所 info@johomoral.jp